

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 3 月 3 日  
東京電力株式会社

## < 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > ( 3/3 11:00 時点 )

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	14.8	105.8 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	24.5	2.71 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	22.1	0.21 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.08 vol%

\*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H26/3/1 3月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機 1.8m<sup>3</sup>/h、2号機 2.4m<sup>3</sup>/h、3号機 2.4m<sup>3</sup>/hと定め、運用を開始。

## < 2 . 使用済燃料プールの状況 > ( 3/3 11:00 時点 )

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.5
2号機	循環冷却システム	運転中	12.4
3号機	循環冷却システム	運転中	16.9
4号機	循環冷却システム	運転中	14.2

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

### 【3号機】

・2/26～ 3号機使用済燃料プール代替冷却系の二次系冷却塔のろ過水による散布水停止の影響調査を実施中(プール冷却は継続中)。

### 【5号機】

・2/28～ 炉心燃料を使用済燃料プールへ移送する準備作業として、使用済燃料プール内に設置されている使用済燃料ラックの点検を実施中。

3/3 10:20 頃 使用済燃料ラックを点検していた当社社員が使用済燃料プール南東側底部に金属らしき異物(約 20mm×約 5mm)を発見。今後準備が整い次第、異物の回収等を実施する。

## < 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	1号機タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	3/2 10:08 ~ 3/2 16:58 移送実施
2号機	2号機タービン建屋	3号機タービン建屋	2/22 10:37 ~ 3/2 9:38 移送実施
3号機	3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

## < 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > ( 3/3 11:00 時点 )

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転状況	停止中	運転中 <sup>*1</sup>	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器 ( H I C ) 交換等を適宜実施。

## < 5 . その他 >

- ・1/29～ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
- ・3/1 12:05～12:30 低気圧による荒天予想から取水路開渠内に待避係留させていたクレーン船を物揚場に戻すため、1～4号取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を実施。

### 【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

#### <トピックス>

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

#### <タンクエリアパトロール実績 (2/28～3/2) >

- ・高線量当量率箇所 ( 線による 70 $\mu$ m線量当量率 ) は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと ( 漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く ) を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

#### < H 4 エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・2/28 に採取した地下水観測孔 E - 9 の全ベータ濃度が前回 ( 2/26 採取 ) と比較して 10 倍程度上昇していることを確認。原因としては、現在、地下水観測孔 E - 9 付近では汚染土壌回収のための掘削作業を行っており、その影響で周囲の汚染が観測孔内に流れ込みやすい状況にあったことが考えられる。なお、今回と同様の状況は過去にも発生しており、その際の全ベータ値は 6,100 Bq/L ( 2/19 採取 ) であった。

[ 地下水観測孔 E - 9 の分析結果 ( 2/28 採取分 ) ]

- ・全ベータ： 8,300 Bq/L

( 参考 )

- ・全ベータ： 740 Bq/L ( 2/26 採取分 )
- ・全ベータ： 6,100 Bq/L ( 2/19 採取分 ) 過去最高値

- ・3/2 に採取した B 排水路 ( ふれあい交差点近傍 [ B - 0 - 1 ] ) の全ベータの値が前回の検出限界値未満 ( 15Bq/L ) と比較して 160 Bq/L と有意な変動が確認された ( 当該箇所の全ベータの過去最大値は 380Bq/L ) 。測定値が上昇した原因については、3/1 からの降雨の影響と考えている。
- ・その他の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

#### <トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は 3/3 0:00 時点で約 8,555m<sup>3</sup> \*集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

#### <地下水観測孔サンプリング実績>

- ・2/26 地下水観測孔 No.2-8 を初採取。濁度が高く、ガンマ核種については測定できていないことから、全ベータ放射能濃度・トリチウム濃度について、参考値であるが近傍の地下水観測孔と同等の値であることを確認。

[ 地下水観測孔 No.2-8 の測定結果:2/26 採取分 ]

- ・トリチウム:600 Bq/L
- ・全ベータ:1,000 Bq/L(お知らせ済み)

- ・2/27 地下水観測孔No.1-14の測定結果について、セシウム濃度が前回値と比較して100倍程度上昇したことを確認。ただし、当該観測孔は海水配管トレンチ等の近傍にあり、全ベータ放射能濃度については前回値とほぼ同等であることから、観測孔内の水を採取してから分析するまでの過程において、何らかの放射性物質が混入したものと考えられる。

[地下水観測孔 No.1-14 の測定結果:2/27 採取分]※( )内の数値は、2/24 採取分の前回値

- ・セシウム 134 : 88 Bq/L (0.96 Bq/L)
- ・セシウム 137 :230 Bq/L (2.8 Bq/L)
- ・全ベータ :350 Bq/L (280 Bq/L)

2/28 再サンプリングを実施。再サンプリングの結果について、セシウムの濃度が前々回(2/24 採取分)の測定結果と同程度であることを確認。採取した水の濁度を比較した結果、2/27 に採取した水の濁度は 2/28 に採取した水の濁度より高かったことから、観測孔内に周辺土壌が混入したものと推定。

なお、全ベータの値については、過去最高値の 780 Bq/L であるが、以前にも同程度の値(2/17 採取:730 Bq/L)を確認している。

[地下水観測孔 No.1-14 の測定結果:2/28 再採取分]※( )内の数値は、2/27 採取分の前回値

- ・セシウム 134 :2.3 Bq/L (88 Bq/L)
- ・セシウム 137 :5.4 Bq/L (230 Bq/L)
- ・全ベータ :780 Bq/L (350 Bq/L)

- ・その他の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

#### 【地下水貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

##### <トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下水貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下水貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エアータンクへの移送を適宜実施。

##### <地下水貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上